

# 01

## 知識

# お金と賢くつきあっていくために。 ～借金の作法(その3)～

前号で「個人がする借金は絶対に『負債』である」と書いた。このように書いたことで「やはり借金をすることは悪いことなのだ」と納得された方もいるかもしれないが、それは誤解である。もちろんだが、私はむやみに借金を奨励しない。それが「負債」である以上、借金をせずに済めばもちろんそれに越したことはない。

しかし一方、借金をすることによって買うことのできるものもある。それは「時間」だ。話は変わるが、私たちの日常にとって冷蔵庫は、もはやなくてはならない生活必需品である。とくに夏の暑い盛りなどは、一日として冷蔵庫のお世話にならない日はないだろう。その冷蔵庫(例えば仮に5万円とする)がある日突然に動かなくなったとする。すぐに買い替えたいが手持ち資金に余裕はなく、給料が入ればすぐに同額程度のものを購入したい

が、その給料日までまだ一週間ある……。このような時、借金を上手に利用すれば一週間という「時間」を買うことができ、給料日が来る前に冷蔵庫が手に入る。

そして、もしこの5万円を年利20%で借りたなら、1週間後に返済する総額は50,191円となり、その内の191円が一週間という時間の「値段」ということになるわけだ。

この例のように、突発的な入用で、かつ短期間にだけ必要である時、借金がいかに便利で役に立つかということが解って貰えたと思う。前号で、個人のする借金は「少額・短期借入」が原則であると書いたが、「今」の自分を評価して返済計画を立てるのならば、自ずとこの原則に沿った借金になるはずなのである。次号では二番目の作法、「実際に必要な金額だけを借りる」について

解説していく。



日本ファイナンス有限会社  
下関店 店長

松原 剛

AFP(日本FP協会認定)

TEL 083-234-3544

<http://nihon-finance.com>

借金で苦しむ人への的確なアドバイスで定評がある、消費者金融のプロフェッショナル。弁護士の人脈、債務カウンセリング、真摯に相談に乗る姿勢が認められ、感謝の声が多数寄せられている。ラジオなどのメディア出演を通して、借財に対する正しい認識を広めている。